

平館こども園
園長 遠藤 一子

林立つ日
我が子に
訪れる

幼くも
手本示して
字ど機に

そよ風
川柳



NO. 160

発行年月日 2026年6月8日
 ※そよ風は八幡平市等の補助金で作っています。
 =発行責任者=
 八幡平市大更18-301
 森の子育て支援センター
 森の子保育園 園長 遠藤 武敬
 TEL.0195-70-1880
 FAX.0195-75-2045
 E-mail morinoko@wtep-suginokokai.com
 HP <http://www.wtep-suginokokai.com/kosodate/>

一時保育 ご利用ください
 通院・美容院・冠婚葬祭・リフレッシュなどにどうぞ！
 事前に登録が必要になりますので、ご連絡ください。
 1時間単位でお預かりいたします。

杉の子こども園 76-3345
 森の子保育園 70-1880
 平館こども園 74-2025
 大更こども園 76-3526
 あしろこども園 72-2431
 畑保育園 72-5511
 ・保育時間：8：30～16：30
 ・保育料：お子さんの年齢・保育時間によって異なります。

0・1・2歳児の育児ポイント

言葉の爆発期！

寺田保育所 保育士 小田島 陽実

昨日までは一語だったのに、今日は「わんわんいた」と二語で伝えてくれた—そんな成長に、思わず嬉しくなる瞬間が増える未満児さん。1～2歳頃に見られる「言葉の爆発期」は、子どもたちの言葉がぐんと増えていく、わくわくする時期です。それまで心の中に溜めていた言葉が、ポンポンとはじけるようにあふれ出し、「これなに？」「みてみて！」「もういっぱい！」と毎日が賑やかになりますよね。気づけば一日中お話をしている…なんてことも！思わずくすくす笑ってしまう言い間違えや、「え、そんな言葉どこで覚えたの!？」なんて驚きもあって、大人も楽しくなってしまう時期です。

この時期は、言葉の上手さよりも「伝えたい!」という気持ちをしっかり受け止めてもらうことが大切です。「そうなんだね」「教えてくれてありがとう」と応じてもらうことで、「話すって楽しい!」という気持ちがどんどん育っていきます。ついつい言い直したくなる場面もありますが、まずは“聞いてもらえた!”という嬉しさを大事にしたいですね。

日常の中では、子どもの言葉にちょい足して返すのがおすすめです。「わんわん!」に「わんわんいたね、ふわふわだね」と返すだけで、言葉の世界がぐっと広がります。また、ごっこ遊びはまさに言葉の宝庫!「いらっしゃいませ〜」「どうぞ〜」「おいしいです」なんてやりとりが飛び交って、気づけば立派な会話に。子どもたちの世界にちょっとお邪魔して、一緒に楽しむのも楽しいですね◎

子どもたちの「話したい!」がどんどん広がるこの時期。大人も一緒に楽しみながら、「今日もいっぱいおはなしたね〜!」なんて笑いあえる毎日を積み重ねていけたらいいですね。

子育ての開始は妊娠中から[2]

～日本の女性に知ってもらいたいこと～

八幡平市出張専門開業助産院 ネイバーフードミドワイフ
助産師 バートレット 佳奈

ご存じの方もいらっしゃると思いますが私はもうすぐ開業助産院を閉院し日本を離れます。去る前に日本の女性に知って欲しいことを今回はお話ししたいと思います。助産師を英語でMidwife(ミドワイフ)と言いますが、この語源の由来をご存じでしょうか?MidwifeとはWith woman(女性と共に)。助産師は女性の尊厳を守り、正常な妊娠・出産をサポートし、母親と新生児の健康促進を担う専門家です。

どこでどのように新しい命を迎えたいかには選択肢があり、それを決めるのは母親です。病気でない母親自身の身体とお腹にいる赤ちゃん、子供を育むのは家族なはずなのになぜ病気を治療する医師に“お任せ”になるのでしょうか。欧米では妊娠が分かったら地域の助産師に会うことが通常ですが、今の日本では行われていません。残念ながら地域に助産師がいることすら知られていないこともあります。欧米はなぜこんなシステムかという、産科の中で助産師は生理学的(physiology)、産科医は病理学的(pathology)なケアをする専門家であるとはっきりしているからです。

助産師主導のケアが母親の満足度が高い研究結果もありながら、日本の産科はますます医療化し、個々の社会背景を重要視すべき妊娠・出産・育児期が、皆が同じ輪の中に入れられている状況です。その上、母子の心身の健康促進に直結する重要な情報を妊娠中に知り得ることも難しいと感じます。

助産師は明確な情報を伝え、母親の決断をサポートするファシリテーターでもあります。これらは欧米の妊婦健診で伝えることのほんの一部ですが、皆さんご存じでしょうか?

- 産み方の違いが子供の腸内細菌を介して免疫力形成に影響すること
- 母乳を通して免疫力形成を構築させていくこと
- 女性の身体は分娩時に陣痛と上手く共存できるホルモンが出ること
- (分娩台ではなく)本人が楽な姿勢で産めばいいこと
- 会陰切開は必要時以外すべきではないこと
- へその緒を切るタイミングが胎盤からの幹細胞の取得に影響すること

分娩はただ「産む」だけではなく、母親は出産を介して子供に一生のギフトを与えるのです。毎月2回、森の子育て支援センターにて地域の助産師が在駐しています。産後のお母さん、赤ちゃんのお父さんはもちろんのこと、妊婦さんとそのご家族もどうぞ気軽に情報収集にいらしてください!

3・4・5歳児の育児ポイント

～幼児期におけるワーキングメモリの重要性と実践方法～

畑保育園 保育士 伊藤拓哉

ワーキングメモリ(作動記憶)とは、情報を一時的に保持し、同時に処理・操作する脳の能力です。「脳のメモ帳」とも呼ばれ、幼児期(主に3～6歳)に急速に発達します。複数の指示を覚えて行動したり、話を聞きながら内容を理解したり、遊びの中で計画を立てる際に不可欠です。容量が小さいと「言われたことをすぐ忘れる」「集中しにくい」などのつまづきが生じやすく、学習の土台や問題解決力、注意力に影響します。ワーキングメモリは遊びや日常の関わりを通じて容量を伸ばすことができます。

なぜ、幼児期が重要か

幼児期は脳の神経回路が活発に形成される時期です。経験を積むことでワーキングメモリの容量と処理能力が向上し、小学校での学習や日常生活において好影響を与えます。ワーキングメモリが育つことで、指示理解力・集中力・自身が高まり、子どもの可能性が広がります。

家庭で出来る実践方法

保育園で遊んでいるもので、ご家庭でも楽しめる一例をお伝えしたいと思います。

ミッションゲーム

「ミッションです!冷蔵庫にタッチして、トイレのドアにタッチして犬のぬいぐるみを持ってきてください!」と指令を出します。2つ3つの指示を暗記してその通りに行えるかゲーム感覚で行えます。自分でなんて言ったかな?と思うときもあるので紙に書いてたりしてもOKです。聞く力や集中力が付きます。

絵本の読み聞かせ

視覚(絵)聴覚(声)を同時に処理する力が付きます。読み終わりに「誰が出てきた?」「この後どうなると思う?」と質問して内容を振り返ったり、想像させるバリエーションも効果的です。

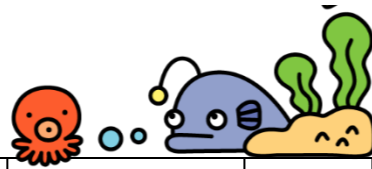
あと出しじゃんけん

相手の手を見てから自分の手を決めます。視覚情報を保持し、判断する力が付きます。テンポを上げたり「勝ってね」「負けてね」の指示をくわえたりして難易度を調整してみましょう。ゆっくり!はやく!とテンポの強弱を子ども達は楽しんでいきます。

参考文献～考える力を育てるには?ワーキングメモリと倫理的思考の発達科学(ハル PT)～



森の子あそぼう会 7月の予定です。



	月	火	水	木	金	土
			1 森の子あそぼう会 プール・水遊びをしよう 9:00~13:00 *濡れた体を拭くタオルをお持ちください 園庭開放 14:00~16:00	2 森の子あそぼう会 プール・水遊びをしよう 9:00~13:00 *濡れた体を拭くタオルをお持ちください 園庭開放 14:00~16:00	3 森の子あそぼう会 プール・水遊びをしよう 9:00~13:00 *濡れた体を拭くタオルをお持ちください 園庭開放 14:00~16:00	4 お休み
5 お休み	6 森の子あそぼう会 助産師 OPEN DAY 10:00~13:00 産前産後のゆるゆる体操&ストレッチは10:30頃から始めます 園庭開放 14:00~16:00	7 森の子あそぼう会 七夕会に参加しよう 9:00~13:00 乳児・1歳児健診 遊びの支援 13:00~	8 平館こども園あそぼう会 プール開きに一緒に参加しませんか 10:00~11:00 *前日までにご連絡をお願いします。 74-2025 園庭開放 14:00~16:00	9 森の子あそぼう会 リズム運動をしよう 9:00~13:00 園庭開放 14:00~16:00	10 たからっこ広場 感触遊びをしよう 10:30~11:30 園庭開放 14:00~16:00	11 お休み
12 お休み	13 森の子あそぼう会 園のお友だちと一緒に防火教育のお話を聞こう 9:00~13:00 園庭開放 14:00~16:00	14 森の子あそぼう会 プール・水遊びをしよう 9:00~13:00 *濡れた体を拭くタオルをお持ちください 1歳半児健診 2歳半歯科 遊びの支援 13:00~	15 森の子あそぼう会 お散歩に行こう 9:00~13:00 *日焼け防止に帽子や水分補給ができるように水筒をお持ちください 園庭開放 14:00~16:00	16 森の子あそぼう会 感触遊びをしよう 9:00~13:00 園庭開放 14:00~16:00	17 第4回子育て教室 陶芸教室 10:00~12:00 素焼きしたお皿への絵付けをします! 園庭開放 14:00~16:00	18 お休み
19 お休み	20 お休み	21 森の子あそぼう会 園のお友だちと一緒に地球環境のお話を聞こう 9:00~13:00 園庭開放 14:00~16:00	22 森の子あそぼう会 新聞紙遊びをしよう 9:00~13:00 園庭開放 14:00~16:00	23 森の子あそぼう会 プール・水遊びをしよう 9:00~13:00 *濡れた体を拭くタオルをお持ちください 園庭開放 14:00~16:00	24 森の子あそぼう会 助産師 OPEN DAY 10:00~13:00 ベビーマッサージは10:30頃から始めます 園庭開放 14:00~16:00	25 お休み
26 お休み	27 森の子あそぼう会 クレヨンでお絵かきをしよう 9:00~13:00 園庭開放 14:00~16:00	28 森の子あそぼう会 プール・水遊びをしよう 9:00~13:00 *濡れた体を拭くタオルをお持ちください 園庭開放 14:00~16:00	29 森の子あそぼう会 プール・水遊びをしよう 9:00~13:00 *濡れた体を拭くタオルをお持ちください 園庭開放 14:00~16:00	30 森の子あそぼう会 お散歩に行こう 9:00~13:00 *日焼け防止に帽子や水分補給ができるように水筒をお持ちください 園庭開放 14:00~16:00	31 お休み 	



おばあちゃんのお恵袋

松尾保育所

在所見祖母 高橋 佳代

三人の娘たちが結婚し、二人ずつ子どもを授かり、あつという間に六人のかわいい孫たちのおばあちゃんになりました。

同居している孫は男の子二人。下の子は松尾保育所の年中組さん。小さい時から病気にかかりやすく、保育所をお休みしたり入院も何度もありますが、一年ごとに少しずつ丈夫になってきています。友達が大好き。遊びも大好き！遊びの中で、たくさんのひらめきや感動をみつけ「ばあちゃん見て！」と話す瞳は輝いていて、その瞬間が「幸せな時間だなあ」と感じています。また、大家族の中で育っているからか、二人とも自然に「ありがとう」「大丈夫？」「お疲れ様」と、人を思いやり感謝を伝えられるようになり、嬉しい主張を感じながら過ごしています。

私も三人の子育てをしました。自分の仕事と毎日の生活に追われて、ゆったりとした子育てはできていなかったと思います。それでも子どもとの時間・家族との時間を大切にしてきました。家族が増えた今も同じで、じいちゃんや小旅行、誕生会などを計画すると皆が集まります。孫たち家族全員が揃うと、総勢一四人！私は、作った料理を「美味しいよ！また作ってね！」と言ってくれる言葉が嬉しくて、せつせつと作ります。孫たちが大きくなるにつれて、全員で集まれることが少なくなっているのだらうと思いますが、孫たちにも家族の温かさを感じて大きくなってほしいので、もうしばらく続けられたらいいなと思っています。

娘たち夫婦は、まだまだ小さい子ども達を相手に毎日奮闘していますが、「子どもの、はじめて」を喜び合いつながり、五年先・十年先を想像し子育てを楽しんでいて欲しいと思います。私達じいちゃん・ばあちゃんも、孫たちが健やかに・元気にやさしく・のびのびと成長していけるよう、見守り応援していきたいと思えます。

てるかママの子育て奮闘記

大更こども園在園児保護者 岩間 輝香



私達家族は娘が2歳の時に八幡平市に移り住み、それと同時期に大更こども園に入園しました。早いものでこの4月に年中になった娘は、ご飯をモリモリ食べ、身長もぐんぐん伸び入園した頃と比べると随分お姉さんになったなと感じます。最近は、夕飯作りのお手伝いも時々してくれるようになりました。引越してくる前にも別の保育園に通っていましたが、娘にとって見知らぬ環境での生活はとて不安が大きかったと思います。それでも徐々に保育園にも慣れ、仲の良いお友達ができたりと一安心していました。通い始めてから数ヶ月経った頃、突然夜中に目を覚まし泣き叫びパニックになったかと思うと、しばらくして「ママどうしたの？」とケロツとして、その時の自分の行動を覚えていないようでした。

主人も私もどう対処したら良いかわからず寝不足の日々が続きました。藁にもすがる思いで某こどもクリニックを受診すると、そちらの先生はにっこり笑いながら私の話を聞くなり「お母さん、この子はこんなに笑顔が可愛い子です。夜中のこの子は本当のこの子じゃないから、大丈夫よ。それより、お母さん、お仕事しばらく休めますか？この子と一緒にいてあげられる？」と言ひ私の診察を始めたので驚きました。

そうだったのか！私の焦りや不安な気持ちが伝染してたんだ！とそこで初めて気がつきました。娘は小さい体で必死に葛藤していたかと思うと、親としての未熟さに今でも悔し涙が込み上げてきます。その後しばらくして症状は治まり、ほとんど同じ様な症状は起こらなくなりました。子供の異変は親の異変が要因の一つにある事を忘れずに、娘の心、自分の心を大切に子育てしていきたいです。